お 客 様 各 位　　2014年4月10日

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil　DAILY MARKET REPORT

SMBC BANCO SUMITOMO MITSUI BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

マーケットサマリー

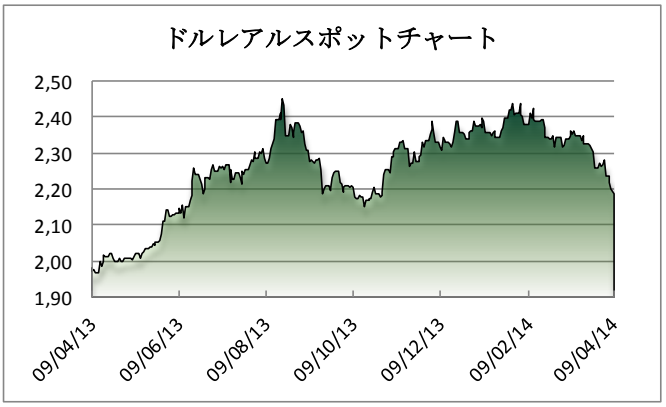
昨日のドルレアルスポット相場は、インフレ懸念が台頭したものの大口レアル買いの噂からレアル続伸となりました。朝方は3月のICPAが前月比0．92%増、前年比6．15%増とそれぞれの市場予想0．85%増6．08%増を上回ったため、前日比レアル安の2．20台後半から始まりました。その後もインフレ懸念からレアルじり安地合いは続き一時2．21台前半で取引される局面もありましたが、午後になって特段の材料はなかったものの大口のレアル買いが噂され2．19近辺へレアルは急上昇しました。引けにかけてもその余韻からレアル高値圏での取引は続き、結局2．18台後半で引けています。

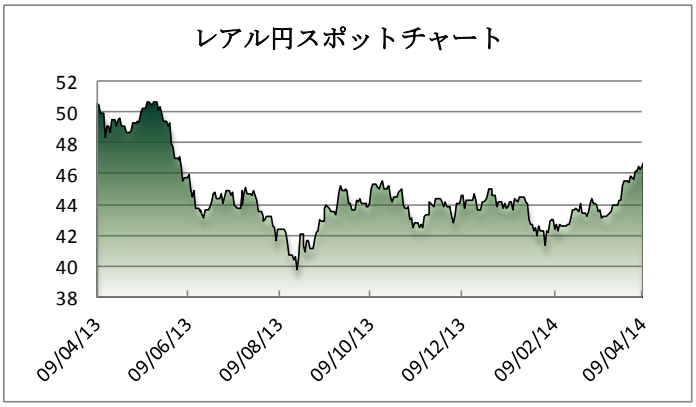
前回COPOMでは次回会合（5／27－28）までマクロ経済シナリオの進展を監視していくとしていましたから、今回のIPCAを受けて次回会合でも25bpsの利上げを行う可能性が高まりました。3月のIPCAは干ばつの影響で食料品価格が大きく上昇（前月比1．92%）していることが主因なので一時的な天候要因であればこのペースが続くことはないのですが、それが収まったとしても構造的なものは何も変わっていないので金利引き上げの累積効果が思ったように効いてくるのか予断を許しません。今朝の報道によると、政府の匿名筋が「レアルは2．20かそれを少し上回るくらいが理想的な水準であり、インフレを抑えて且つ経済活動を高めることができる」と発言したとされています。これは普段から政府が利用する意図的なリークでありこの流れで行くと市場は昨年10月につけた直近レアル高値の2．14台後半を目指し、当局の姿勢を試す展開となるでしょう。

マーケットデータ

Indicator	Unit	4月8日	4月9日	前日比	3月7日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	46,24	46,64	+0,40	44,12	+2,52
USD / BRL Spot	BRL	2,2016	2,1870	-0,0146	2,3409	-0,1539
USD / JPY Spot	JPY	101,81	102,00	+0,19	103,28	-1,28
Bovespa（ブラジル株価指数）	Index	51.629	51.185	-444	46.244	+4.941
CDS Brazil 5yrs（ｸﾚｼﾞｯﾄﾃﾞﾌｫﾙﾄｽﾜｯﾌﾟ）	bps	160,7	158,0	-2,7	169,0	-11,0
Brazil 5yrs Gov. Bond	%	12,26	12,32	+0,06	12,75	-0,43
DI Future Jul15（金利先物）	%	11,56	11,63	+0,07	11,68	-0,05
3 Months US Dollar Libor	%	0,227	0,228	+0,001	0,236	-0,008
CRB Index（国際商品指数）	Index	308,0	309,5	+1,5	307,2	+2,3

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。





本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。